

# 《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

資料 1

○ 基本目標 1 つなげる…地域社会のネットワークをつくる (1) 地域における出会いとつながりの場をつくります

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
1 ボランティアの相談、登録、調整、支援など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動希望者及び団体への相談及び登録の実施</li> <li>・ボランティア依頼に対するコーディネート</li> <li>・施設等のボランティア依頼に適切に対応するために申込書等の書式の整備</li> <li>・サロン研修会におけるボランティア情報の提供及び依頼に関する説明の実施</li> <li>・ボランティア活動者向けの研修会の開催 (H29・H30・R1)</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ボランティア活動相談件数</li> <li style="padding-left: 20px;">(H28) 71 件</li> <li style="padding-left: 20px;">(H29) 141 件</li> <li style="padding-left: 20px;">(H30) 183 件</li> <li style="padding-left: 20px;">(R1) 345 件</li> <li>* ボランティア登録団体・個人</li> <li style="padding-left: 20px;">(H28) 103 団体・63 人</li> <li style="padding-left: 20px;">(H29) 112 団体・63 人</li> <li style="padding-left: 20px;">(H30) 118 団体・72 人</li> <li style="padding-left: 20px;">(R1) 101 団体・83 人</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に関する相談に対して、活動者に活躍の場に関する情報を提供するなど適宜対応した結果、やりがいや地域住民との交流を深める機会につながることが出来た。</li> <li>・個人や施設等から寄せられるボランティア依頼を適切に対応するため、新たにエントリーシートの作成や申込書の改定などを行った結果、依頼内容等の情報が整理され、マッチングがスムーズに行えるようになった。</li> <li>・サロン研修会を開催し、ボランティア情報の提供を行ったところ、ボランティア依頼に関する相談件数が増加した。</li> <li>・ボランティア活動者向けの研修会を開催し、ボランティア活動に必要な心構えや知識を伝達して、ボランティアを支援した。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域では、少子高齢化や人口減少、地域のつながりの希薄化など様々な課題を抱えていることから、今後も、住民や関係機関、関係団体が連携・協働して、身近な場所でのボランティア等の地域資源の活用等に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標 1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(1) 地域力の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多様な助け合い活動の推進</li> <li>(2) 自治会や民生委員・児童委員、ボランティアなど地域の関係者との連携・協働</li> <li>3 地域福祉活動の関係者の連携・協働</li> <li>4 地域づくりに携わる協力者・団体との連携</li> </ol>
2 サロン活動の立上げと運営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流についての情報提供によるサロン支援の実施</li> <li>・地域福祉コーディネーター等によるサロン立上や運営に係る支援</li> <li>・「地域通いの場マップ」によるサロン周知の実施</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 世代間交流が行われているサロン</li> <li style="padding-left: 20px;">(H28) 5 サロン</li> <li style="padding-left: 20px;">(H29) 5 サロン</li> <li style="padding-left: 20px;">(H30) 6 サロン</li> <li style="padding-left: 20px;">(R1) 8 サロン</li> <li>* サロン代表者会議の開催</li> <li style="padding-left: 20px;">(H28) 2 地区各 1 回</li> <li style="padding-left: 20px;">(H29) 5 地区各 1 回</li> <li style="padding-left: 20px;">(H30) 6 地区各 1 回及び全地区対象会議 2 回</li> <li style="padding-left: 20px;">(R1) 6 地区各 1 回</li> <li>* サロン参加者数</li> <li style="padding-left: 20px;">(H28) 27,852 人</li> <li style="padding-left: 20px;">(H29) 29,623 人</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代サロンに関する情報提供等を地域助け合いフォーラム(平成 30 年度実施)やサロン代表者会議で行った結果、参加者家族(孫)も参加するサロンが徐々に増えてきた。</li> <li>・サロンの立上げや運営に関する問い合わせ内容を整理及び Q&amp;A を作成し、地域福祉コーディネーターやサロン担当者等がサロン支援を行う際に活用することで、統一した対応を行うことが出来た。</li> <li>・「地域通いの場マップ」を作成し、自治会を通じて全戸配布を実施したことで、サロンの新たな参加者獲得につながった。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代サロンは増加したが、少子高齢化が進む中で、日常生活の支援を必要とする高齢者や子供の見守りを求める子育て世帯が多くいることから、今後さらに、関係団体等が連携を図り、サロン活動など地域の集いの場の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標 1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(2) 自治会や民生委員・児童委員、ボランティアなど地域の関係者との連携・協働</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 地域福祉活動の関係者の連携・協働</li> <li>4 地域づくりに携わる協力者・団体との連携</li> </ol> <p>【基本目標 2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(2) 支え合い・見守り活動の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 サロン活動など集いの場の充実</li> </ol>

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
	(H30) 30,157人 (R1) 29,155人		
3 サロン活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーター等によるサロンの立ち上げ支援</li> <li>・赤い羽根共同募金の配分金を原資としたサロン活動資金の助成</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* サロン立ち上げ相談</li> <li>(H28) 2件</li> <li>(H29) 5件</li> <li>(H30) 3件</li> <li>(R1) 1件</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* サロン助成金交付団体（登録サロン数）</li> <li>(H28) 81団体</li> <li>(H29) 84団体</li> <li>(H30) 84団体</li> <li>(R1) 89団体</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーターが中心となって、地域で活動する団体等を訪問し、サロン立ち上げに関する情報提供などの支援を行った結果、新たに10カ所でサロンが立ち上がった。</li> <li>・平成30年度よりサロン参加者の人数に対する助成に加え、新たにサロンの開催回数に対する助成を開始し、サロン活動支援の強化を図った。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン数は、年々増加しているものの、未だ身近な場所を通えるサロンがない地域もあることから、関係団体等と連携しながら、地域の憩いの場の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の多様な主体をつなげる</li> <li>(2) 自治会や民生委員・児童委員、ボランティアなど地域の関係者との連携・協働</li> <li>3 地域福祉活動の関係者の連携・協働</li> <li>4 地域づくりに携わる協力者・団体との連携</li> </ul> <p>【基本目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を尊重しながら支え合う</li> <li>(2) 支え合い・見守り活動の充実</li> <li>3 サロン活動など集いの場の充実</li> </ul>
4 サロンを情報伝達・交換の場として活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関や関係団体へのサロン情報の提供による連携強化の取組</li> <li>・情報伝達・意見交換の場としてのサロンの活用</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン広報誌を、自治会の協力の下、全戸配布するとともに、市内地域包括支援センター等の関係機関へ配布するなど、サロンと関係機関とをつなぐ機会を積極的に設けた。</li> <li>・社協が行うボランティア講座開催等に関する情報提供を各サロンに行った結果、サロン関係者の参加が増え、新たなサロン間の交流や意見交換の場となった。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの中には、担い手不足や高齢化を心配している運営者もいることから、関係機関の協力や他の団体との連携について、検討を進める必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の多様な主体をつなげる</li> <li>(2) 自治会や民生委員・児童委員、ボランティアなど地域の関係者との連携・協働</li> <li>3 地域福祉活動の関係者の連携・協働</li> <li>4 地域づくりに携わる協力者・団体との連携</li> </ul> <p>【基本目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を尊重しながら支え合う</li> <li>(2) 支え合い・見守り活動の充実</li> <li>3 サロン活動など集いの場の充実</li> </ul>

## 《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

### ○ 基本目標 1 つなげる…地域社会のネットワークをつくる (2) 地域包括ケアシステム構築に向け、関係機関をつなげ地域のニーズに応えます

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
5 生活支援コーディネーターの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一層の生活支援コーディネーターを配置</li> <li>・ 介護予防・生活体制整備事業による地域包括ケアシステムの構築に向けた検討</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度より、受託事業として介護予防・生活支援体制整備事業が始まり、第一層（市内全域）の生活支援コーディネーターを 1 名配置し、第一層協議体（たすけあい推進協議会）を立ち上げて、地域資源の把握や生活支援・介護予防サービスの検討、市民への意識啓発等を行った。</li> <li>・ 令和元年度より、第二層（7 地区）の協議体の立上げに向け、生活支援コーディネーターを 2 名体制とし、7 地区で第二層協議体を立ち上げた。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も、生活上の困難を抱える人への包括的支援体制を構築するために、生活支援コーディネーター、関係機関、市等が連携して、さらに取組を進める必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標 1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(1) 地域力の向上</p> <p>1 多様な助け合い活動の推進</p> <p>(3) 地域福祉に携わる社会福祉法人との連携・協働</p> <p>5 地域の社会福祉法人との連携強化</p> <p>(4) 市との連携強化</p> <p>6 市との連携強化</p>
6 協議体の設置運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一層協議体（たすけあい推進協議会）の運営</li> <li>・ 第二層協議体（7 地区）の設置・運営</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第一層協議体（たすけあい推進協議会）の開催</li> <li>(H28) 7 回</li> <li>(H29) 3 回</li> <li>(H30) 3 回</li> <li>(R1) 2 回</li> <li>* 第二層協議体会議（7 地区）開催</li> <li>(R1) 45 回</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一層協議体では、自治会、民生委員・児童委員及び事業者等が委員となって定期的に会議を開催し、市内に必要な生活支援サービス及び介護予防等の取組について検討を行った。</li> <li>・ 地域住民がリーダーとなって進めていく第二層協議体では、その運営支援を生活支援コーディネーターが中心となって行い、地域ごとの課題整理や今後の取組について検討が始まった。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のつながりの希薄化など様々な課題があることから、今後も地域の多様な主体が協力して取組を進める必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標 1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(1) 地域力の向上</p> <p>1 多様な助け合い活動の推進</p> <p>(3) 地域福祉に携わる社会福祉法人との連携・協働</p> <p>5 地域の社会福祉法人との連携強化</p> <p>(4) 市との連携強化</p> <p>6 市との連携強化</p>

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

○ 基本目標2 支える…支え合いの地域をつくる (1) 地域でのその人らしい自立した生活を支えます

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
7 支え合いサポート事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いサポート事業の周知</li> <li>・サポーターの確保</li> <li>・サポーター支援の強化</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用登録者数               <ul style="list-style-type: none"> <li>(H28) 446 人</li> <li>(H29) 511 人</li> <li>(H30) 527 人</li> <li>(R1) 522 人</li> </ul> </li> <li>* サポーター登録人数               <ul style="list-style-type: none"> <li>(H28) 107 人</li> <li>(H29) 109 人 (内新規登録 21 名)</li> <li>(H30) 108 人 (内新規登録 20 名)</li> <li>(R1) 108 人 (内新規登録 13 名)</li> </ul> </li> <li>* 延べ利用件数               <ul style="list-style-type: none"> <li>(H28) 1,412 件</li> <li>(H29) 1,576 件</li> <li>(H30) 1,853 件</li> <li>(R1) 1,400 件</li> </ul> </li> <li>* 地区別サポーター懇談会               <ul style="list-style-type: none"> <li>(H29) 各地区計 9 回開催</li> <li>(H30) 全体研修会后、地区に分かれて 1 回開催</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙への掲載や関係機関・団体への訪問を通じて、支え合いサポート事業の周知を行ったところ、利用件数は増加してきた。なお、令和元年度における利用件数の減少については、東日本台風により派遣調整ができなかったことが要因として挙げられる。</li> <li>・サポーターの全体研修を毎年度 1 回実施するとともに、地区ごとにサポーター懇談会を実施することで、サポーター同士の交流の機会を増やすことに加え、支援の統一が図られた。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いサポート事業では、新たに短時間利用のサービスが開始されたことから、広く地域住民等に周知する必要がある。</li> <li>・地区により支援者数にばらつきがあり、地域を基盤とした支え合いや見守りを進めるためには、地域活動への住民参加の促進を図る必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(1) 地域活動等への住民参加の促進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域活動への住民参加の促進</li> </ol> <p>(2) 支え合い見守り活動の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 地域住民による自治会や地域コミュニティ活動の振興</li> </ol>

《第一次地域福祉活動計画総括評価表》

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項																								
8 シニアボランティアポイント制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアボランティアポイント制度の周知</li> <li>・登録者を対象とした研修会開催</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*登録者                     <table border="0"> <tr><td>(H28)</td><td>326人</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>423人</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>458人</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>492人</td></tr> </table> </li> <li>*登録施設                     <table border="0"> <tr><td>(H28)</td><td>12カ所</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>15カ所</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>17カ所</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>17カ所</td></tr> </table> </li> <li>*交付金額                     <table border="0"> <tr><td>(H28)</td><td>653,000円</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>674,000円</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>864,000円</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>917,000円</td></tr> </table> </li> </ul>	(H28)	326人	(H29)	423人	(H30)	458人	(R1)	492人	(H28)	12カ所	(H29)	15カ所	(H30)	17カ所	(R1)	17カ所	(H28)	653,000円	(H29)	674,000円	(H30)	864,000円	(R1)	917,000円	<p>&lt;達成状況と成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン代表者会議でシニアボランティアポイント制度の説明を行ったほか、市や社協の広報紙等で事業周知を行った結果、登録者、活動先及びサロンが増加してきており、高齢者の介護予防並びに社会参加につながっている。</li> <li>・登録者の活動の参考となるような研修会を、年2回開催し、活動の充実に向けて取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt;活動推進上の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地区により課題も異なり、地域の状況に応じた支援体制を築くことが必要なことから、身近な地域での活動の場の充実や小地域福祉活動への参加者を増やす取組が必要である。</li> </ul>	<p>【基本目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を尊重しながら支え合う</li> <li>(3) 小地域活動の充実</li> <li>4 介護予防や健康づくりなどを通じた顔の見える関係づくり</li> <li>5 身近な地域での活躍の場の充実</li> </ul>
(H28)	326人																										
(H29)	423人																										
(H30)	458人																										
(R1)	492人																										
(H28)	12カ所																										
(H29)	15カ所																										
(H30)	17カ所																										
(R1)	17カ所																										
(H28)	653,000円																										
(H29)	674,000円																										
(H30)	864,000円																										
(R1)	917,000円																										

○ 基本目標2 支える…支え合いの地域をつくる (2) 社協支部を通じて地域住民に寄り添い、ともに地域福祉の推進を図ります

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項						
9 社協支部事業の見直しと推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支部において事業計画を立て適宜実施</li> <li>・H29年度から随時、各地区市民活動センターに地域福祉コーディネーターを配置</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*地域福祉コーディネーターの配置                     <table border="0"> <tr><td>(H29)</td><td>唐子地区</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>大岡地区</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>高坂丘陵地区、高坂地区、野本地区、平野地区</td></tr> </table> </li> </ul>	(H29)	唐子地区	(H30)	大岡地区	(R1)	高坂丘陵地区、高坂地区、野本地区、平野地区	<p>&lt;達成状況と成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他支部の取組を参考にしながら事業の見直しや新たな事業に関する検討が行えるよう、全支部統一した様式で事業計画書を作成し、各々の支部が実施する事業内容等についての相互理解を深めた。</li> <li>・各地区に地域福祉コーディネーター（非常勤）を配置し、サロン訪問及び立上支援、関係機関が主催する会議への参加などを行った結果、地域の多様な主体との連携・協働や情報共有をする機会が増えた。</li> </ul> <p>&lt;活動推進上の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な特色を有する小地域が混在していることから、7支部の単位よりもさらに小さな地区単位での課題解決に向けて、取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の多様な主体をつなげる</li> <li>(1) 地域力の向上</li> <li>2 地域力の支援体制の強化</li> </ul> <p>【基本目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を尊重しながら支え合う</li> <li>(3) 小地域活動の推進</li> <li>6 社協支部活動の充実</li> </ul> <p>【基本目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</li> <li>(3) 多様な参加・協働による包括的な相談支援体制の整備</li> <li>4 地域福祉コーディネーターの強化</li> </ul>
(H29)	唐子地区								
(H30)	大岡地区								
(R1)	高坂丘陵地区、高坂地区、野本地区、平野地区								

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
10 社協支部連携会議の開催	<p>・社協支部長、市民活動センター所長、プラン推進委員長、社協地区担当職員が参加して、年2回会議を開催</p>	<p>＜ 達成状況と成果 ＞</p> <p>・「地域福祉連絡会議」を毎年度2回開催し、地域福祉活動計画地区別プランの進捗状況や各支部が実施する事業について情報共有を図るとともに、相互理解を深めた。</p> <p>＜ 活動推進上の課題 ＞</p> <p>・社協支部活動の充実に向け、継続して他支部の活動状況や取組課題などの情報を共有し、相互理解を深める必要がある。</p>	<p>【基本目標1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(1) 地域力の向上</p> <p>2 地域力の支援体制の強化</p> <p>【基本目標2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(3) 小地域活動の推進</p> <p>6 社協支部活動の充実</p> <p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(3) 多様な参加・協働による包括的な相談支援体制の整備</p> <p>4 地域福祉コーディネーターの強化</p>
11 地区別プラン事業助成の実施	<p>・申請団体への助成の実施(4団体)</p> <p>＜ 実績 ＞</p> <p>* 地区別プラン事業助成</p> <p>(H28) 4団体 99,286円</p> <p>(H29) 4団体 120,000円</p> <p>(H30) 4団体 120,000円</p> <p>(R1) 6団体 180,000円</p>	<p>＜ 達成状況と成果 ＞</p> <p>・地域福祉活動計画地区別プランに記載のある事業を実施する団体に助成金を交付し、地区別プランの推進する団体及びその取組を支援した。</p> <p>＜ 活動推進上の課題 ＞</p> <p>・地域の状況に応じた支援体制の構築に向け、地区別プランの推進に取り組む必要がある。</p>	<p>【基本目標1】</p> <p>地域社会の多様な主体をつなげる</p> <p>(1) 地域力の向上</p> <p>2 地域力の支援体制の強化</p> <p>【基本目標2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(3) 小地域活動の推進</p> <p>6 社協支部活動の充実</p> <p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(3) 多様な参加・協働による包括的な相談支援体制の整備</p> <p>4 地域福祉コーディネーターの強化</p>

## 《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

### ○ 基本目標3 育てる…地域福祉を支える担い手を育てる (1) 地域の福祉ニーズを広く発信し、それに応える活動者を養成します

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
12 地域福祉及び社会福祉協議会に関する情報の広報・周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だよりの発行（全戸配布）</li> <li>・ホームページやFacebookによる事業のPRの実施</li> <li>・ケーブルテレビを活用し、事業PRの実施</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だよりの発行及びケーブルテレビを活用した広報・周知活動については計画に基づき実施することができた。</li> <li>・ホームページ及びFacebookについては、これまで総合福祉エリアで管理するものと、市民福祉センターで管理するものと、法人として各二種類あったが、閲覧者が望む情報を混乱なく得られるように統合し、利便性の向上を図った。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進に向け、より多くの住民の参加が得られるよう、継続して地域福祉に関する情報の発信に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <p>地域福祉活動の担い手を育てる</p> <p>(1) 互いに尊重し、支え合う意識の醸成</p> <p>1 福祉に関する情報発信</p>
13 地域ニーズに応えるボランティア養成講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動支援講座の開催</li> <li>・手話奉仕員養成講座の開催(年1回)</li> <li>・精神保健福祉ボランティア養成講座の開催(年4回)</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ボランティア活動支援講座受講者 (H29) 24人(1回) (H30) 90人(2回) (R1) 16人(感染予防対策のため4、2回⇒1回)</li> <li>* 手話奉仕員養成講座参加者 (H28) 37人 (H29) 26人 (H30) 19人 (R1) 13人</li> <li>* 精神保健福祉ボランティア養成講座参加者 (H28) 35人(2回) (H29) 39人(2回) (H30) 115人(5回) (R1) 26人(感染予防対策のため、5回⇒3回)</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・団体等と連携を図り、計画に基づき各種講座を開催した。</li> <li>・平成29年度より開催しているボランティア活動支援講座は、毎年参加者によるアンケートで高い評価を得ている。</li> <li>・手話奉仕員養成講座では、手話奉仕員の養成を当事者団体やボランティアサークルと連携を図りながら実施することができた。</li> <li>・精神保健福祉ボランティア養成講座では、平成30年度より開催回数を増やしたことにより、参加者を増やすことができた。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種活動において、担い手不足や高齢化が心配されており、地域福祉を支える多様な担い手の確保と育成が必要となっている。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <p>地域福祉活動の担い手を育てる</p> <p>(2) 地域福祉を支える人材の確保と育成</p> <p>3 地域の福祉の担い手の確保</p> <p>(3) 地域福祉を推進する人材の確保と育成</p> <p>4 福祉サービスの担い手の確保</p> <p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会をつくる</p> <p>(4) 情報アクセスやコミュニケーション支援の充実</p> <p>5 情報提供にあたる支援者の養成</p>

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
<p>14 生活支援サービスの担い手の養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援の担い手養成講座等の開催</li> <li>・地域助け合いフォーラムの開催</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 担い手養成講座参加者 (H28) 50人 (H29) 39人 (H30) 63人 (R1) 37人</li> <li>* 地域助け合いフォーラム参加者 (H30) 345人</li> <li>* 地域での助け合いを考える会 (H30) 154人</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援の担い手を養成するために、担い手養成講座を開催することで、新規の支え合いサポーター等の担い手確保につながった。</li> <li>・ボランティア等の助けあい活動への関心を高めるため、地域助け合いフォーラム（平成30年度）やフォーラム後に勉強会「地域での助け合いを考える会」（平成30年度）を3回開催し、市民の意識啓発を行い、介護予防・生活支援体制整備事業における第二層協議体の基礎を築いた。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題が多様化、複雑化する中で、地域福祉活動の推進役となるリーダーの育成が必要である。</li> <li>・専門的な知識や経験を有する福祉の担い手が恒常的に不足している。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉活動の担い手を育てる</li> <li>(2) 地域福祉を支える人材の確保と育成</li> <li>3 地域の福祉の担い手の確保</li> <li>(3) 地域福祉を推進する人材の確保と育成</li> <li>4 福祉サービスの担い手の確保</li> </ul>



## 《第一次地域福祉活動計画総括評価表》

○ 基本目標3 育てる…地域福祉を支える担い手を育てる (2) 市民が福祉を身近なものとして感じ、理解できるように働きかけます

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項																
15 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の授業の実施</li> <li>・学校を対象とした福祉教育受講後のアンケートの実施</li> <li>・小地域福祉活動実践者向け福祉教育の実施</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>*実施校</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>(H28)</td><td>15校</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>13校</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>9校</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>12校</td></tr> </table> <p>*小地域実践者向け福祉教育</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>(H28)</td><td>2カ所</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>1カ所</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>1カ所</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>10カ所</td></tr> </table>	(H28)	15校	(H29)	13校	(H30)	9校	(R1)	12校	(H28)	2カ所	(H29)	1カ所	(H30)	1カ所	(R1)	10カ所	<p>&lt;達成状況と成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉教育の推進」については、小中学校を対象とした子どもたちの福祉の学びを支援する取り組みと地域住民に対する生涯学習という視点での取り組みと二つの流れで取組を進めた。</li> <li>・小中学校を対象とした取組では、学校及びボランティアとして活動する福祉教育推進員並びに当事者と連携を図りながら計画的に進めることができた。なお、実施後に行ったアンケート結果では、概ね良い評価をいただいた。しかし、市内全部の小・中学校で、福祉教育を実施することが出来なかった。</li> <li>・小地域活動実践者向け福祉教育では、平成30年度に地域福祉活動に関する情報をまとめて、支え合いサポート事業及びシニアボランティアポイント制度等の資料と併せてサロン等に説明を行った。その結果、令和元年度は4カ所のサロンにおいて、車いす体験や出前講座等による福祉教育を実施する事ができ、高齢者のボランティア活動を通じた地域貢献の意識醸成に向けて取組むことができた。</li> </ul> <p>&lt;活動推進上の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が実施したアンケート調査では、若い世代の福祉に対する関心が低くなっていることから、関係団体等と連携して福祉教育に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <p>地域福祉活動の担い手を育てる</p> <p>(1) 互いに尊重し、支え合う意識の醸成</p> <p>2 福祉教育の推進</p>
(H28)	15校																		
(H29)	13校																		
(H30)	9校																		
(R1)	12校																		
(H28)	2カ所																		
(H29)	1カ所																		
(H30)	1カ所																		
(R1)	10カ所																		
16 夏のボランティア体験事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のボランティア体験事業の実施</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>*延べ参加者数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>(H28)</td><td>674人</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>764人</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>689人</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>531人</td></tr> </table> <p>*プログラム数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>(H28)</td><td>55プログラム</td></tr> <tr><td>(H29)</td><td>68プログラム</td></tr> <tr><td>(H30)</td><td>66プログラム</td></tr> <tr><td>(R1)</td><td>58プログラム</td></tr> </table>	(H28)	674人	(H29)	764人	(H30)	689人	(R1)	531人	(H28)	55プログラム	(H29)	68プログラム	(H30)	66プログラム	(R1)	58プログラム	<p>&lt;達成状況と成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数は、県内でも上位であり、多くの市民にボランティア体験をしていただけている。</li> <li>・受け入れ担当者との事前打合せ会議や終了後の反省会を開催し、参加団体・事業所間の情報交換・共有の場としても活用できている。</li> </ul> <p>&lt;活動推進上の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が実施したアンケート調査では、若い世代の福祉に対する関心が低くなっていることから、関係団体等と連携してボランティア体験事業に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <p>地域福祉活動の担い手を育てる</p> <p>(1) 互いに尊重し、支え合う意識の醸成</p> <p>2 福祉教育の推進</p>
(H28)	674人																		
(H29)	764人																		
(H30)	689人																		
(R1)	531人																		
(H28)	55プログラム																		
(H29)	68プログラム																		
(H30)	66プログラム																		
(R1)	58プログラム																		

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
<p>17 共同募金活動の広報・推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動の実施</li> <li>・共同募金の周知</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <p>* 東松山市における募金総額</p> <p>(H28) 11,773,866 円 (支会目標額比 104.0%)</p> <p>(H29) 11,846,886 円 (支会目標額比 : 102.2%)</p> <p>(H30) 11,538,307 円 (支会目標額比 : 97.1%)</p> <p>(R1) 11,313,715 円 (支会目標額比 : 95.2%)</p>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募金の活用実績などを記した「ありがとうらし」を活用し、関係機関・団体等と協働した募金活動を実施した。</li> <li>・市内の学校及び企業への協力依頼など、募金活動を強化したが、直近2年は支会目標額に達しなかった。なお、県共募より示される募金目標額に対しては期間中全ての年度で目標額を上回った。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動を財政面から支援するために、広く地域住民に情報発信して、共同募金活動を推進する必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標3】</p> <p>地域福祉活動の担い手を育てる</p> <p>(1) 互いに尊重し、支え合う意識の醸成</p> <p>1 福祉に関する情報発信</p>

## 《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

### ○ 基本目標4 守る…市民が安心して暮らせる仕組みをつくる (1) 高齢となり、障害があっても市民としての尊厳と権利を守ります

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
18 日常生活自立支援事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上</li> <li>・管理体制の強化</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*新規契約者数</li> <li>(H28) 6名</li> <li>(H29) 5名</li> <li>(H30) 16名</li> <li>(R1) 8名</li> <li>*相談対応件数</li> <li>(H28) 602件</li> <li>(H29) 700件</li> <li>(H30) 1,133件</li> <li>(R1) 719件</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議を開催し、新規ケースや困難ケースの検討を実施し、統一した対応ができる様取り組むとともに、外部研修会にも積極的に参加した。</li> <li>・貴重品等の管理マニュアルの見直しなど、管理体制の強化に取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、関係機関と連携を図りながら、支援を必要とする住民が必要な福祉サービスを利用できるように取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(1) 福祉サービスを必要とする人の支援体制の充実</p> <p>1 福祉サービスを必要とする人への支援</p>
19 法人成年後見事業のさらなる推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見の受任と体制整備</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*援助件数</li> <li>(H28) 2件</li> <li>(H29) 2件</li> <li>(H30) 1件</li> <li>(R1) 0件</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービス利用援助事業からの移行が必要と思われる利用者について、市や関係機関と連携を図りながら適宜支援を行った。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者やひとり暮らし高齢者、障害者の親亡き後の問題などにより、利用ニーズが増えることが予想されることから、成年後見センターと調整を図りながら取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(5) 地域での暮らしを支える権利擁護体制の充実</p> <p>6 成年後見制度の普及啓発</p>
20 成年後見センターの設置に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見センターの設置</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*相談件数</li> <li>(R1) 123件</li> <li>*普及啓発件数</li> <li>(R1) 34件</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度より成年後見制度推進懇談会が開催され、成年後見センターの設立について検討が進められ、令和元年度に東松山市成年後見センターが開設した。</li> <li>・開設後は、成年後見セミナーや出前講座を通じ、地域住民や関係機関等に対し周知に取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の利用促進に向け、成年後見センターによる成年後見制度に関する普及啓発や相談援助を実施する必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(5) 地域での暮らしを支える権利擁護体制の充実</p> <p>6 成年後見制度の普及啓発</p>

《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

○ 基本目標4 守る…市民が安心して暮らせる仕組みをつくる (2) 生活困窮に陥っても、可能な限り自立した生活を続けられるよう支援します

推進項目	実施内容	評価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
2.1 貸付事業等の相談と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援の実施</li> <li>・関係機関との定期的な連絡会議の開催</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*相談件数</li> <li>(H28) 217件</li> <li>(H29) 173件</li> <li>(H30) 256件</li> <li>(R1) 345件</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>*市小口資金貸付件数</li> <li>(H28) 56件</li> <li>(H29) 50件</li> <li>(H30) 59件</li> <li>(R1) 89件</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を図り、適切な制度やサービスに繋ぎ、多職種と連携して自立に向けた支援を行った。</li> <li>・社会貢献事業を進める事業者や市と定期的に会議を設けたことにより、情報の共有化が図られ、支援も円滑に進められている。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、更に経済的な問題や養育に困難を抱えるケースの増加が予想されることから、各種支援事業に関する情報周知や関係機関等との連携した支援が必要である。</li> </ul>	<p>【基本目標4】</p> <p>安心して自分らしく暮らせる社会を築く</p> <p>(2) 生活困窮者等への包括的な支援体制の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 緊急小口貸付による支援</li> <li>3 子どもへの支援</li> </ol>

## 《 第一次地域福祉活動計画総括評価表 》

○ 基本目標4 守る…市民が安心して暮らせる仕組みをつくる (3) 大規模災害の発生時に、ボランティアの受け入れと調整を行います

推進項目	実施内容	評 価	第二次地域福祉活動計画において関連する取組事項
2.2 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直し</li> <li>・訓練の実施</li> <li>・啓発活動</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 研修実績</li> <li>(H28) 実施せず マニュアル見直し、装備備品の整備。</li> <li>(H29) 実施せず マニュアル見直し</li> <li>(H30) 1回 24人参加</li> <li>(R1) 災害ボランティアセンター開設のため中止</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置マニュアルの見直しを行った。</li> <li>・平成30年度に行政や自治会長、民生委員・児童委員等呼びかけ、「災害対応力研修会」を開催した。(1回 24人参加)</li> <li>・防災ワークショップイベント(イツモ防災キャラバン)や防災フェアにおいて、災害ボランティアセンターの周知を行った。(平成30年度、令和元年度実施)</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、各地で大規模な地震や風水害などが発生していることから、避難行動要支援者の支援など、顔の見える関係づくりを進める必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(4) 災害に備えた地域の基盤づくり</p> <p>7 防災活動の充実</p>
2.3 災害ボランティアセンターの設置運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターの設置運営</li> </ul> <p>&lt; 実績 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 開設期間 : 令和元年10月15日～令和2年4月30日</li> <li>* 災害ボランティア活動日 : 69日</li> <li>* 災害ボランティア活動者延べ人数 : 4,553人</li> <li style="padding-left: 20px;">うち個人ボランティア : 2,499人</li> <li style="padding-left: 20px;">団体ボランティア : 2,054人(団体実数 72団体)</li> <li>* 災害ボランティア派遣状況</li> <li style="padding-left: 20px;">・ボランティア派遣件数(実世帯数) 193世帯</li> <li style="padding-left: 20px;">・ボランティア派遣延べ件数 742件</li> </ul>	<p>&lt; 達成状況と成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本台風の被害に伴い、令和元年10月に災害ボランティアセンターの開設・運営を行った。</li> <li>・災害ボランティアセンター開設・運営時の振り返りを行い、今後に向けた準備を進める。</li> </ul> <p>&lt; 活動推進上の課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本台風に伴う災害ボランティアセンターの活動実績を地域住民に周知するなど、今後の大規模災害に備えて、災害対応の担い手を確保するために取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>【基本目標2】</p> <p>多様性を尊重しながら支え合う</p> <p>(4) 災害に備えた地域の基盤づくり</p> <p>7 防災活動の充実</p>